

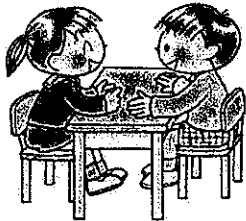
一、辞書引き学習のねらい

子どもの「自ら学ぶ姿勢を育てる」こと

子どもが辞書を引いて言葉を発見したら、まず褒めてあげることから始めてください。

人から押しつけられるのではなく、自分から発見的に学んでいくことを「すばらしい」と褒められるのですから、子どもは、どんどん自分の生活体験の中で知っている言葉を探すようになります。そして、『自分はできるんだ』という自信がつかってきます。また、時間をかけて言葉にたどり着くからこそ、調べたという実感がわき、自発的に学習する習慣づけにもつながるのです。

こうして身に付けた「自ら学ぶ姿勢」「学ぶ意欲」が、さまざまな学習場面において推進力となり、ひいては学力の向上へとつながっていくと考えます。



二、辞書引き学習のよき

- ・ 自分からすすんで調べる習慣がつく。
  - ・ 調べた言葉が自分の財産となる。
  - ・ 子どもの言葉が豊かになる。
- …言葉を知ること、友だち同士の会話でも意図や気持ちを正確に伝えることができるなど、コミュニケーション能力の向上も期待できます。



三、「マイ辞書」活用例

- ・ すぐ使えるように「机の上に」「ケースをはずした」辞書を用意。「辞書袋」を机に提げる工夫も。
- ・ 国語に限らず、理科、社会で用語を確認するなど他教科でも活用。
- ・ 調べた言葉を付せんに書き、辞書に貼り付け。
- ・ 付せんは百枚単位で色を変え、進捗状況が分かるように。
- ・ 時には違う辞書で引き比べをする。
- ・ 辞書を読み物としてもすすめる（コラムなど）。